

科目名		授業形態	担当教員名	
放射性医薬品学Ⅱ		講義	田中 悟	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
放射線医薬品学Ⅱでは核医学診療で用いる放射性医薬品の特徴、関係法令、製造法、臨床適応、品質管理について理解する。				
授業の到達目標				
核医学診療に用いる放射性医薬品の種類と特徴、関係法令、放射性核種の製造方法、標識化合物の製造・調整方法、品質管理など、核医学診療を実施するにあたり必要な知識を得る。また、放射性医薬品を取扱う上での必要な知識（患者様の医療被ばくおよび医療従事者の職業被ばくの管理を含む）を得る。				
授業計画				
回	内容			
1	放射性医薬品（定義と分類）			
2	放射性医薬品（関係法令）			
3	放射性医薬品（検査機器）			
4	放射性医薬品（集積機序）			
5	放射性医薬品（製造供給）			
6	放射性医薬品（標識方法）			
7	放射性医薬品（コンパートメントモデル）			
8	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅰ）			
9	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅱ）			
10	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅲ）			
11	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅳ）			
12	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅴ）			
13	放射性医薬品（PET）			
14	放射性医薬品（内用療法）			
15	放射性医薬品（インビトロ、品質管理）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	90%	放射性医薬品の特徴、各論、品質管理等について説明できることを評価する		
レポート				
小テスト				
平常点	10%	授業態度によって評価する		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
核医学技術総論 第3版	日本放射線技術学会	山代印刷株式会社		
核医学検査技術学 改訂3版	日本放射線技術学会	株式会社 オーム社		
放射線技術学シリーズ 放射化学	日本放射線技術学会	株式会社 オーム社		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				